

高山市の医療体制と 高山厚生病院の今後について

清和クラブ
松林 彰



問 高山厚生連の担うべき役割は、具体的にどのようにしたらよいのか。財源はどのようにするのか。医療の責任は県にあるが、介護保険は市にある。その混合型として役割を担ってきた高山厚生病院・療養型医療施設の今後について、高山市の見解は。

答 法改正により新たな介護保険施設として定義された「介護医療院」の機能が、この地域にも必要ではないかというご意見もいただいております。市としてはこのような現状を踏まえて、関係する市村と連名で厚生連に対して介護医療院への転換について要望しているところである。



山城は地域の資産 郷土愛の礎として活用を!

清和クラブ
松山 篤夫



問 広瀬城の畝状空堀群とセットで設けられた防御ラインは、当時の最新技術を導入して構築されたものであり、飛騨中世城郭の頂点を示すものである。防御ラインは長さ430mにわたって構築された巨大なものであり、広瀬城は飛騨中世城郭群の最終到達点の城郭で、大規模な畝状空堀群や堀切が良好な状態で残っている。国の史跡に指定されることが待ち望まれているが、指定申請の現状は。

答 文化庁の調査官に現地確認をしていただき、その価値を再評価いただいた。早期の国史跡指定に向けて取り組みを進める。



廣瀬城跡石碑

乗鞍スカイラインの 復旧について

清和クラブ
車戸 明良



問 令和4年9月に再び崩落して全面交通止めが続く「乗鞍スカイライン」復旧の状況と、1車線確保した早期仮復旧への方向性は。また観光への影響と対応は。

答 県は、対策検討会で自然災害との見解を示し工法など復旧計画を進めている。地域の観光を支える重要な道路であり、人や自転車を含め、片側交互通行による開通も視野に入れ可能な限り早期復旧が出来る工法を選定するとしている。市は、国、県への1日も早い復旧の要望やバックアップをする。観光への影響は大きく、受け入れ環境の整備やプロモーションなど、状況を見据えながら取り組む。



食物アレルギー疾患への 理解や配慮を

高山市議会公明党
山腰 恵一



問 指定避難所では、炊き出しや非常食の提供によって、食物アレルギー疾患を持つ人(特に子ども)への周囲の理解不足によって、アレルゲン成分のある食物を食べてトラブルが発生することがある。市では、運営責任者への周知や啓発、対応をどう進めてきたのか。

答 避難所運営マニュアルに基づき講習会を開催しているが、マニュアルでは、食物アレルギー対応について、まだ十分な内容になっておらず、特に子どもを持つ方については重要と認識している。具体的な内容を記載し適正な配慮ができるよう取り組む。

